

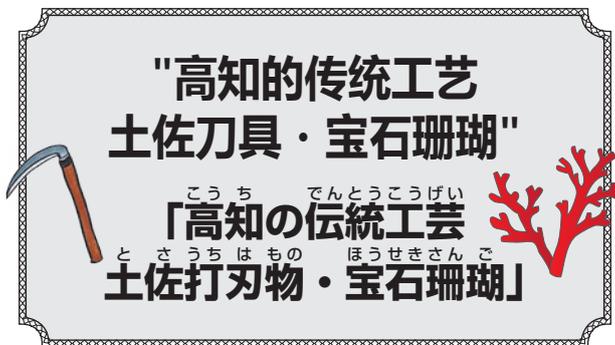


An information Magazine for the International Community in Kochi 中国語生活情報冊子「土佐 Wave (中国語版)」2017年12月号 (Vol.23) 発行:(公財)高知県国際交流協会

传统工艺品就是采用当地产出的材料，凭借传统工艺手法和匠人的技术制作而成的物品。

在高知县，冠以“土佐〇〇”之名的传统工艺品为数不少，例如土佐和纸、土佐瓦、土佐灰浆、土佐古代漆器、土佐风筝、土佐备长炭等等。其中不乏自千年之前传承下来的传统技术，支撑着高知引以为豪的传统产业。

这一期，我们将为您介绍“土佐刀具”和“宝石珊瑚”。我们追溯历史，展开了一场寻找匠人们精心之作的旅程。



～伝統工芸品とは、その地域から産出される素材を元に、伝統的な技法と匠の技をもって作られてきたものである～
高知県には、土佐和紙、土佐瓦、土佐漆喰、土佐古代塗、土佐凧、土佐備長炭など、土佐〇〇という多くの伝統工芸品があります。その中には、1000年以上前から伝わる伝統技術もあり、高知の誇れる伝統産業を支えています。
今回は、“土佐打刃物”と“宝石珊瑚”

を紹介し、それぞれの歴史をたどりながら、匠たちのこだわりの逸品を探しに行ってきました。

为寻“土佐刀具”，探访土佐山田 高知县厅CIR 张 慧盈

在高知，有很多制作各种各样刀具的店铺。有打制镰刀和锯的，也有打制斧头和菜刀等的。为了支撑高知的林业发展，铁匠们用自己的双手不断锻造出各种不同类型的刀具（镰刀、锯、斧头等）。土佐刀具用来修枝剪叶非常有名。

从位于香美市土佐山田町的土佐刀具流通中心出发，驱车几分钟，穿过一片种植小葱和韭菜的塑料大棚之后，我们来到了一家铸造刀具的店铺。在那里，土佐刀具的传统工艺师——山下哲史先生正在打制镰刀。

我们向镰刀锻造师傅——山下先生请教了很多关于土佐刀具的事情。山下师傅说道：“直到大约30年前为止，土佐镰刀一直大量出口到以东南亚为中心的许多国家。但是，近年来受机械化的影响，来自海外的订单骤减。如今在日本一般家庭，点柴烧水的习惯也逐渐消失，大家不再需要用柴，也就不再需要砍树了。因此，目前的现状就是手工镰刀的生产量不断减少。不过，说到菜刀，2013年“和食”被列为联合国教科文组织非物质文化遗产之后，来自德国和美国等国家的订单有所增加。除了和食带来的影响之外，人们对手工制作刀具的认识正在改变。”

于是，我们提出了疑问，“在这个越来越不需要刀具的时代，最畅销的刀具是什么呢？”答案还是菜刀。某私营电视台播放过关于东京筑地的节目，山下师傅非常自豪地说道：“当时节目中使用的切生鱼片的刀就是土佐出品哦！”土佐刀具最大的特征是刀刃锋利。对男性而言，土佐刀具的黑色双刃最受欢迎。然而，土佐出品的菜刀销售困难仍然是目前现状。山下师傅说道：“现在大家都经常在外面吃饭。就算在家做饭，也更喜欢使用不锈钢菜刀。因为不锈钢不会生锈，使用方便，而且价格也比较便宜。如果刀锋变钝了，也可以直接扔掉。然而，土佐刀

“土佐打刃物”を訪ねて土佐山田へ 高知县CIR テオ ヴアレリー



鎌刀制作の第一工序→将钢夹入铁中，然后在1000度的炉膛里烧红，再用铁锤锻打。

鎌づくりの最初の作業→鉄に鋼を挟み込み、1000度の火床で溶かしハンマーで打つ

高知には、鎌鍛冶、鋸鍛冶、斧鍛冶、包丁鍛冶など、いろいろな鍛冶屋がある。高知の林業を支えるために鍛冶屋の手によって必要なさまざまな道具（鎌、鋸、斧）が作られてきた。土佐刃物は、木を手入れする道具で有名である。

香美市土佐山田町にある土佐刃物流通センターから車で数分。あたり一面に広がるやっこねぎやニラのビニールハウスの中を通り抜け目指したところに、一軒の鍛冶屋があった。土佐打刃物の伝統工芸士である山下哲史さんが鎌を作っている最中だった。

鎌鍛冶職人である山下さんに、土佐刃物について話を聞いた。「土佐鎌は、約30年前までは

東南アジアを中心に輸出が盛んにおこなわれていたが、近年では、機械化のあおりを受け海外向けの注文は大幅に減っている。家庭でも薪でお風呂を焚き上げるといった習慣もなくなり、木が利用されることもなくなり、木を切る必要性も失われている。手づくりの鎌生産は減ってきているのが現状である。だが、包丁に関して言うと、2013年ユネスコ無形文化遺産に“和食”が登録されたのをきっかけにドイツやアメリカなどから注文がきている。和食効果もあり手作りの刃物についての認識が変化してきている。」という。

そこで、山下さんに質問した。「いろいろな刃物が不要になっている時代ですが、一番売れている刃物は何ですか？」答えは、やはり「包丁」だった。ある民放テレビで放送されていた東京築地の話を取り上げ、「あの魚包丁は、土佐もんやった。」と誇らしげに話した。土佐刃物の特長は、何ととっても切れ味の良さ。男性には、黒の諸刃が人気の理由である。とはいえ、土佐刃物の包丁も売れにくいのが現状。「家庭では、外食も多く、料理をする人でもステンレス製の包丁を好む。ステンレスは錆びたりしないから、気軽に使えるし、お値段も安めで切れ味が悪くなっ

具容易生锈，平时需要保养。因此，尽管土佐刀具比不锈钢制品锋利很多，但使用的人也仅限于专业厨师和热衷钓鱼的人而已。”

“刀具的魅力是什么呢？”山下师傅回答道：“现在超市里卖的不锈钢菜刀，就跟工厂生产的曲奇一样，全部都是使用模型大量生产的，每把刀都是一样的，没有个性可言。然而，土佐刀具每一把都是手工制作，是全世界独一无二的作品。还可以根据客人的要求量身定制，对厚度和粗细进行局部调整。由于全程都是手工制作，无法大量生产。经过锻造，组织结构更趋于微粒化，刀刃的锋利程度随之提高。这就是土佐刀具和不锈钢产品最大的差异所在。”

“请您谈一谈对土佐刀具未来发展的期望。”针对我们的提问，“土佐刀具有着悠久的历史，众多匠人用他们的双手制作出了近乎完美的作品。全世界的刀具看上去好像形状都差不多，但是不同国家和地区用于农业和山林的刀具形状还是有所不同的。在长期手工制作镰刀的过程中，我积累了一些经验和技巧，从而可以根据买家的具体要求进行量身定制。今后我会灵活使用这些经验和技巧，一如既往地坚持制作土佐刀具，力求满足每一位买家的要求”，山下师傅娓娓道来。

一个人的铁匠铺，从铁开始，一步步精心制作而成一个个成品，送到了海外买家的手中。“因为农业和山林领域的生活方式正在不断改变……”从山下师傅的这句话中，与其说我们能感受到时代的变迁，不如说更多感受到的却是一种落寞的心情。然而，同时我们也感受到了土佐人坚信“切东西这一操作是永远不会消失的”，这份日积月累的传统的厚重感。

在那里，保存有锻造炉膛的温度与内心的宁静。不禁想要再次拜访，再次感受那种匠心精神。



淬火之前，先使用研磨机初步定型
焼き入れ前にグラインダーを使って生仕上げ



接受全国客户（尤其是京都、大阪、九州、中四国地区）提出的附带设计图的订单
全国（特に、京都、大阪、九州、中四国）より、デザイン画付きでお得意様より注文を受ける

「たら捨てることも可能である。一方、土佐刃物は錆びやすく、日々のメンテナンスが必要になる。ステンレス製よりもずっとよく切れるのだが、使うのはプロの料理人や趣味で魚釣りをしている人に限られている。」

「刃物の魅力は何ですか？」の質問に、「いま、スーパーで売られているステンレス製包丁は、工場で作られているように型取りされ大量生産されていて、どれも一緒で個性がない。ただし、土佐刃物はすべて一つ一つ手で作られており、世界でたった一つしかない刃物である。お客様のニーズにこたえ、刃物の厚さや細さ、部分的に調整することもできる。すべてが手作業であり、大量生産できない。鍛錬することにより組織が微粒化され切れが増す。それが、ステンレス製包丁との大きな違い。」と答える。

「土佐刃物の展望を聞かせてください」という質問に対し、「土佐刃物には歴史があり、多くの匠の手を通して、ほぼ完璧な形になっている。刃物の形は、世界中どこも同じような形だが、農業や山林の道具は、国や地域によって形が違う。鎌作りのこれまで培ってきた“細かい注文を受けることができる”というノウハウを生かして、これからお客様の注文に添えるよう、今までと変わらず丁寧に刃物作りをしていきたい」という。

一人の鍛冶屋が鉄から丁寧に作り出す一つ一つの道具が、海外の人に受け入れられている。「農業や山林に対する生活様式が変わってきたから…」という山下さんの言葉に時代の流れとはいえ寂しさを感じたが、「物を切るという作業は消えない」という土佐の人たちが積み上げてきた伝統の重みも感じた。

そこには、鍛冶場の温もり、居心地の良さがある。また、その人柄に触れるため、土佐山田を訪れたい。

宝石珊瑚 在高知县珊瑚联合行会采访 高知县厅CIR 张 慧杰



宝石珊瑚 高知県珊瑚協同組合にて 高知県CIR 張 慧杰

您听说过珊瑚婚吗？这是指结婚35周年的纪念日。在这一特殊的日子送给您的父母一款珊瑚制礼品吧？提起珊瑚制品，可能很多人只想到饰品与珠宝。但其实珊瑚已经日西合璧，依据不同用途渗透在人们生活的各个方面，比如辟邪物、陈设品、茶道中的枣形茶叶罐、香炉、佛像、画框等。因此，珊瑚的魅力首先在于珊瑚生长在深海中，成长缓慢，有的品种生长1厘米需要花将近50年，因其稀少罕见而为人们所喜爱。另外，宝石珊瑚是游在原木周围的珊瑚虫附着在原木主体上继续生长形成的，形容它为大自然创造出的艺术品也毫不为过。大自然鬼斧神工创造出的珊瑚没有完全相同的两件，颜色与花纹各具特色。

~来吧，进入投标现场~

且说，采访当天刚好赶上每月1次的半成品招标会。我们也有幸兴致盎然地观看了招标会的情景。上午，是各位买家仔细观察比较产品的时间。下午，主办方会给每一位买家配发一本写有买家姓名与年限的笔记本，招标正式开始。每位买家将价格写在笔记本上，扔给主办方。主办方大喊一声“开票!!!”，读出标价最高的买家名字。于是中标成交。如果遇到特别想入手的制品可

珊瑚婚を聞いたことがありますか？それは結婚から35周年を迎える記念日のことです。夫婦にとって節目となる日に両親に珊瑚製品をプレゼントしてみませんか？珊瑚製品というと、アクセサリやジュエリーのイメージしかない人もいますが、実は魔よけ、置物、茶道具のお茶入れの棗、香炉、仏像、額縁など和洋折衷、用途によってさまざまなシーンで使われています。そこで、珊瑚の魅力はというと、深海に生息し、成長が遅く、1センチ成長するのに約50年近くかかる種類もあり、その希少性からも人々に愛されています。さらに、宝石珊瑚は原木の周囲を泳いでいる珊瑚虫が本体に吸着されることによって成長を続け、自然が生み出した芸術品といっても過言ではありません。自然のサイクルの中で作られた珊瑚は全く同じものがなく、色や柄もそれぞれなのです。

~いざ、入札現場へ~

さて、取材当日は、ちょうど月に一回の入札の日でした。私たちも興味津々で入札会の風景を覗きました。午前中は、製品をじっくり見比べる時間です。午後、バイヤー一人一人へ、名前入りの年季のに入った小さな手帳を配り入札開始。自分の価格を手帳に書き、主催者に投げ込みます。主催者の「開票!!!」の大きな声で、一番高値を付けた人の名前を読み上げます。それで入札成立。想像以上に高値をつけたり、びっくり

能就会把价格写高,同时也有以令人惊讶的便宜价格入手货品的情况,也有因为自己想要买的商品被他人买走了而叹气的人。所以说,珊瑚并没有固定的行情。只是,近20年来,最受欢迎的是红色珊瑚。颜色越深越受买家瞩目。

~珊瑚的历史与未来~

日本宝石珊瑚的历史,始于1812年在室户海,当地渔师将偶然打捞到的珊瑚进献给当地领主。之后,珊瑚渔师与工匠秉承与自然和谐共生的方式,将传统工艺代代传承。另外,由于某种因缘得到的宝石珊瑚也可以代代相传,不论过了多长时间经过工匠重新打磨,仍然能够绽放光泽,伴随着过往的回忆继续使用。

但是,珊瑚传统工艺目前面临着后继者不足的问题。作为解决这种局面的方法之一,每年2月下旬到3月上旬,在“高知观光信息发布馆土佐露台”举办土佐珊瑚祭。通过展示入选珊瑚名作竞赛的作品,提升年轻人对珊瑚的兴趣与热爱,同时也是对珊瑚工匠辛勤工作的鼓励。去年共计展示有130到150幅作品,迎来了包括中国大陆、台湾地区以及韩国在内的2500人到场参观,得以向众人展示了珊瑚的魅力,对于珊瑚工匠来说也是学习加工技术与提高艺术鉴赏力的好机会。

する程安く購入できたり、目を付けていたものが他人にとられて溜め息をつく人もいます。そのように、珊瑚には決まった相場がありません。ただし、ここ20数年の人気は、なんととっても赤色珊瑚。色が濃ければ濃いほどバイヤーの目を引きまます。

~さんごの歴史とこれから~

日本の宝石珊瑚の歴史は、1812年室戸沖で偶然地元漁師が引き上げたものを領主に献上したことから始まります。その後、珊瑚漁師や珊瑚職人が自然と共生する形で伝統技術を代々受け継いできています。また、何かの縁で宝石珊瑚を手にした方々も代々受け継ぎ、何年経っても職人に磨き直してもらいながら思い出と共に大切に使われているのです。

しかし、現状としては後継者不足の問題もあります。その取り組みの一つとして、土佐のさんごまつりが毎年2月下旬から3月上旬まで「高知観光情報発信館とさてらす」で開催されています。珊瑚名作コンテストの入選作品を展示することで、若者の珊瑚に対する興味を引き出し、職人さんの仕事への励みとなります。昨年は130点から150点の作品があり、台湾、中国、韓国を含め2500人の来場者を迎え、多くの方々に珊瑚の魅力を発信でき、職人にとっては加工技術や芸術性などを勉強できる良いチャンスとなっています。

让高知大自然中孕育出的治愈系 珊瑚在画纸上活色生香 日本画家 越智 明美女士

最初听说珊瑚除了饰品之外还可以用于绘画创作时,我们工作人员的第一感觉是惊讶。

“我借助珊瑚的力量来绘画。它是高知美丽海洋的产物。珊瑚的色泽与质感中蕴含着治愈人的力量。”越智女士娓娓道来。在越智女士的作品中,被熏黑的银箔与栩栩如生的色彩相映成辉,各种素材共同构筑和谐的画面。整个画作中,让人感到放松与温暖的色彩是一粒粒珊瑚粉末。自古以来日本画的传统技法中,有将天然矿物磨碎作为绘画材料使用的先例。不过越智女士的作品中使用的不是市场上销售的画材,而是使用高知珊瑚自己精炼制作的材料。然后将这些材料使用“动物胶”黏着在画布上,因为独特的制作方法,使得珊瑚的颗粒感浑然天成地跃然纸上,画面更加立体,并且使得画风整体与众不同。另外,据说经年累月珊瑚的色泽很少发生变化。正因为如此,随着时间的流逝,银箔等材料的质感发生变化,与珊瑚末形成的强烈对比也非常美丽。

将高知的珊瑚作为画材使用的契机

她觉得“高知的大自然孕育出了美丽的珊瑚,但是对于高知的当地人来说,由于在日常生活中过于习以为常所以没有认识到珊瑚的珍贵价值。我想要让更多的人了解到高知的魅力。”于是,她决定开始精炼天然珊瑚粉末。但是,越智女士并不懂得精炼珊瑚的诀窍,并且不是高知本地人,也不认识雕刻珊瑚的工匠。缘分的奇妙之处在于,有一天越智女士在一家珠宝店购买珊瑚耳环时,鼓起勇气说“能不能将这支耳环的制作者介绍给我认识?”于是,她与这位珊瑚匠人熟识,并且学习到了精炼珊瑚粉末的方法。这位匠人至今仍然偶尔出现在越智女士的个人展览会上。雕刻界的理所应当≠日本画界的理所应当,不过她却做到了跨越不同领域的藩篱,吸取精华,互通有无,将高知的珊瑚文化发扬光大。



越智女士与张CIR
越智さんと張CIR



精炼的珊瑚粉末。我们了解到即使是同一种珊瑚,研磨颗粒大小不同也能形成多种多样的颜色。精製した珊瑚末。同じ珊瑚からでも粒子の大きさにより多様な色ができることが分かる

高知の自然に生まれた 珊瑚の癒しを絵にのせて 日本画家 越智 明美氏

珊瑚に、アクセサリ以外の使い道があるなんて。という驚きが私たちスタッフの最初の感想でした。「私は珊瑚のパワーを借りて、絵を描かせてもらっている。高知の美しい海があつてのもの。珊瑚の色合いや質感は、人を癒すちからを秘めている」という越智さん。越智さんの作品は、いぶされた銀箔やビビッドな色彩などさまざまな素材がハーモニーをなす。そこに、ほっとする温かみのある彩りを重ねているのが、珊瑚の粒(珊瑚末)です。古くからの日本画の技法で、画材として天然鉱物を粉砕して使うことがあるが、越智さんの作品に使われているものは、市販されている画材ではなく高知の珊瑚から精製した自家製のもの。これを、のりとなる「かわ」で接着するのだが、オリジナルだからこそ、さんごのゴロっとした粒感が残るほど立体感があり、絵の画面全体を際立たせる。また、珊瑚は経年による色の変化が少ないという。だからこそ、年月が経ったときに銀箔などの風合いが変わっていく素材との対比が美しい。

高知の珊瑚を画材として使用するきっかけ

「高知には自然に生まれた美しい珊瑚があるのに、高知の人にとってはあまりにも身近すぎて、その尊い価値に気づいていないのかもしれない、この魅力を広めたい」と思い立ち、天然珊瑚末の精製を決意したという。しかし精製のノウハウは乏しく、県外出身の越智さんに珊瑚彫刻の職人の知人はいなかった。そこであるジュエリー店で珊瑚のピアスを購入したとき、「これを作った作家さんを紹介してください」と大胆に頼んだのが縁となり職人さんと繋がりをもち、珊瑚末の精製のいろはを学んだ。その職人さんは、今でも個展などに顔を出してくれる。彫刻界のあたりまえ≠日本画界のあたりまえだそうで、分野という垣根を越えて、良いものは取り入れ、情報を共有しながら高知の珊瑚文化を発展させていっている。

珊瑚粉末的精炼方法

精炼珊瑚粉末需要反复以下步骤。按照颜色筛选珊瑚→粉碎→磨碎成细小粉末→除去铁粉→用药品洗干净→使用淘洗法将微粒分开→干燥完成。赤血红珊瑚研磨出深粉色的粉末，白色珊瑚研磨出柔软的米色颗粒，稍微有一点微妙的色差。在珊瑚工匠与研究生院教授的指导下，花了2年时间，最终成功精炼出珊瑚粉末。当我们询问她，“精炼珊瑚既花时间又花工夫，不觉得很麻烦吗？”，她说“没有啊，很开心。使用研钵一个劲儿地研磨让我欢欣雀跃！”珊瑚质地坚固，粉碎不但非常费时，同时也会受到周围环境中色素的影响，非常纤细敏感。但是从越智女士侃侃而谈的神色中，我们看到她没有将这视为一件苦差事，而是在精炼过程中注入了自己的感情。



“珊瑚之风”女孩背后上升的温暖风流是使用赤血红珊瑚粉末调制出的颜色。

『珊瑚の風』女性の背後を上昇するあたたかい風はチアカ珊瑚を粉砕して作った色である

珊瑚末の精製の方法とは

珊瑚末の精製は、度重なるステップから成る。珊瑚を色で選別→粉碎→細かくすりつぶす→鉄粉を除去→薬品で洗浄→水干製法で粒子をわけると乾燥し完成。チアカ珊瑚からは濃いピンクが、シロ珊瑚からは、柔らかいベージュのような色味の粒など、微妙な色の違いができるという。

この過程ができるようになるまでには職人さんや大学院の教授の指導のもと、2年間研究を重ねた。「精製は時間も時間がかかって大変じゃないですか？」と何うと「いえ、楽しいんです。さんごを乳鉢でひたすらすりつぶす作業もわくわくする！」と言う。珊瑚は固いので粉碎に時間がかかったり、周りの環境に色素が影響されたりと、非常に繊細だそうだが、越智さんの話ぶりからは、それを苦にせず精製の過程にも愛情を注いでいるようだった。

高知の大自然の尊さを若い世代につむぐ

国内外での展示やワークショップを通じて、珊瑚が育まれる高知の自然の偉大さ、その美しさと尊さを感じて欲しいという。珊瑚の魅力にまだ気づいていない方達にも、新たな魅力を発見するきっかけをつくり、珊瑚の持つパワーに癒されてほしいと話している。

越智明美ウェブサイト <http://www.ochiakemi.com/profile>

将高知大自然的珍贵传递给年轻一代

通过国内外的展览与研讨会，让更多的人感受到孕育出珊瑚的高知县雄壮、秀美与宝贵的自然环境。对于那些还没有认识到珊瑚魅力的人们，她希望创造契机，让他们也能够被珊瑚的能量治愈。

越智明美个人主页 <http://www.ochiakemi.com/profile>

高知的生活Q & A “自行车的交通规则是？”

高知县厅CIR 韩 正圭

高知の生活Q & A 「自転車の交通ルールは？」

高知県CIR 韓 正圭

来到日本两年了。很多地方都感到与自己国家有所不同，其中之一便是“自行车”。（顺便说一下我来自韩国）在这里我看到不论男女老少都骑自行车出行，真切感受到日本真是自行车的王国啊。并且，我在日本只是每天骑自行车，就知道了有关自行车各种各样的规则。于是本期我想向一些像我一样在自己国家不怎么骑自行车或者由于与自己国家自行车规则不一样而不甚了解的人们，介绍一下自行车王国日本的规则。

首先，自行车规则的大前提是自行车等同于车辆的认知。骑自行车出行的各位朋友，请不要忘记自行车也是车辆的一种，请时刻注意在骑行过程中保证步行者优先的原则。

下面详细说明几点规则。①因为自行车属于车辆的一种，所以饮酒骑自行车也是禁止的。另外，②两辆自行车并行骑行与③骑车带人也是禁止的。即使是一点也不想离开的亲密关系，骑自行车时也要稍微留一点距离。④撑伞骑自行车⑤骑车过程中看手机也是非常危险的行为，请大家不要这么做。安装伞架，把伞放置在伞架上并不违规，只是遇上强风天气比较难掌控自行车方向，所以更加推荐穿雨衣。⑥天黑之后，请点亮自行车的车灯。最后，⑦骑行中佩戴耳机也是禁止的。

请遵守自行车规则，守护自身与周围人的安全吧。如果您需要更加详细的信息，请查阅高知县警察本部(<http://www.police.pref.kochi.lg.jp/traffic/jitenshanoanzen.html>)与《道路交通法第63条》的主页。



日本に来て2年。私の国との違いを感じたところの中で一つは「自転車」でした。（ちなみに私は韓国出身です）老若男女問わず、日常生活で自転車に乗ることを見て、まるで日本は自転車王国だなと思いました。また、毎日の生活で自転車を利用するだけに、様々な自転車のルールがあることも分かりました。それで今回は、私のように母国ではあまり自転車に乗らなかった方や母国とは違うかも知れない自転車ルールを知らない方のため、自転車王国日本のルールをご紹介しますと思います。

まず、自転車は車と同じということがルールの大前提だと思います。自転車に乗る皆さん、自転車も車の一種ということをお忘れずに、いつも歩行者優先の運転に気を付けてください！

それではルールを一部ご紹介します。①自転車は車と同じですので、飲酒運転はもちろん禁止です。また、②二人が一緒に走る並行運転と③二人乗りも禁止です。少しも離れたくない人だとしても、自転車に乗る時には距離を置きましょう。④傘差し運転と⑤運転中のケータイは危ないのでやめましょう。ただ、傘スタンドはルール違反ではありませんが、風が吹いたら自転車を運転しにくくなりますので、レインコートをお勧めします。⑥暗くなったらライトを点灯しなければなりません。最後に⑦運転中のイヤホンも禁止です。

自転車ルールを守り、自分と相手の安全を守りましょう。もっと詳しい情報が必要な方は高知県警察本部(<http://www.police.pref.kochi.lg.jp/traffic/jitenshanoanzen.html>)と「道路交通法第63条」のページをご覧ください。